

付録1: 備蓄品別配布対象、算定根拠、備蓄数一覧

各項目内容について

備蓄倉庫種別	備蓄する倉庫種別 拠：拠点・集積集積防災備蓄倉庫 避：避難所防災備蓄倉庫 二：二次避難所防災備蓄倉庫 帰：帰宅困難者対策防災備蓄倉庫
配布対象(割合)	その備蓄品の配布対象者。割合については母数を避難所避難者と設定できるもののみ算出
全体算定根拠	品目選定の根拠、及び用途、目標備蓄数の考え方
目標備蓄数	上記全体算定根拠に基づき算出した台東区が公的備蓄として備蓄する目標備蓄数

食糧品

おかゆパック		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避/二
全ての0歳児と1歳児の半数を除く食料需要者 (98.9%)	即時食べられ、咀嚼も不要であることから、発災初日の昼・夜食として、対象者の2食分(離乳食が必要な1歳児については3食分)を備蓄。加えて、1歳児の一部・後期高齢者については2～3日目分も備蓄する(1歳児:3食分、後期高齢者:2食分)。	目標備蓄数
		100,199食
		現在備蓄数
		132,891食

アルファ化米(個食・炊出)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
0～1歳児、後期高齢者を除く食料需要者 (86.8%)	水を必要とするため、発災2～3日目の昼・夜食として、対象者の4食分を備蓄。衛生面、コスト面の観点から、炊き出し用として備蓄しているアルファ米を個食に順次切り替えを予定している。	目標備蓄数
		144,268食
		現在備蓄数
		173,400食

ビスケット		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避
0～1歳児を除く食料需要者のうち、非アレルギー患者 (96.6%)	開封してすぐに食べられるため、発災後3日間の朝食として、対象者の3食分を玄米スナックと合わせて備蓄。	目標備蓄数
		109,963食
		現在備蓄数
		130,250食

玄米スナック		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避
0～1歳児を除く食料需要者のうち、アレルギー患者 (2.0%)	ビスケットにアレルギー物質が含まれていることから、発災後3日間の朝食として配給予定のビスケットのアレルギー対応品として、対象者の3食分を備蓄。(食物アレルギー研究会発行「食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2023」より)	目標備蓄数
		2,277食
		現在備蓄数
		3,150食

飲料水		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避/二
0～1歳児、後期高齢者 (13.2%)	乳幼児、後期高齢者は給水設備などを用いて自ら水を調達できないため、発災後3日間の飲料用水として、対象者の3日分(1人1日3ℓ)を備蓄。	目標備蓄数
		63,884ℓ
		現在備蓄数
		69,408ℓ

食糧品

粉ミルク		備蓄倉庫種別
		扱/避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
全ての0歳児と1歳児の半数の食料需要者のうち、非アレルギー患者 (1.0%)	乳幼児は他の主食類を食べることができないため、発災3日間の主食として、対象者の3日分(1人1日8回)を備蓄。	9,209 本
		現在備蓄数
		23,950 本

粉ミルク(アレルギー対応品)		備蓄倉庫種別
		扱/避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
全ての0歳児と1歳児の半数の食料需要者のうち、アレルギー患者 (0.1%)	粉ミルクのアレルギー対応品として、対象者の3日分(1人1日8回)を備蓄。1缶を約53食分と想定。(1食15g=100ml)	25 缶
		現在備蓄数
		90 缶

液体ミルク		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
妊産婦避難所避難者の内、乳幼児	妊産婦避難所において、対象者の半日分を備蓄。初日の8回中、発災直後の4回を必要に応じて液体ミルクで補うものとする。	48 缶
		現在備蓄数
		48 缶

豚汁		備蓄倉庫種別
		扱
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～1歳児を除く食料需要者 (98.6%)	お湯を沸かす必要があるため、発災2～3日目の夜副食として、対象者の2食分を備蓄。	81,916 食
		現在備蓄数
		115,020 食

避難所避難者(一定数の避難所外避難者を含む)に供給する食料の早見表です。
年代や発災経過日数により、供給する食料が異なります。本付録における目標備蓄数は、下記表の計画に基づき供給する想定で算出しました。

年代	初日			2～3日目			4日目以降
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	
2歳～74歳	ビスケット	おかゆ	おかゆ	ビスケット	アルファ米	アルファ米・豚汁	支援物資
アレルギー	玄米スナック	おかゆ	おかゆ	玄米スナック	アルファ米	アルファ米	支援物資
0歳～1歳半	粉ミルク	粉ミルク	粉ミルク	粉ミルク	粉ミルク	粉ミルク	支援物資
アレルギー	粉ミルク(アレルギー対応品)	粉ミルク(アレルギー対応品)	粉ミルク(アレルギー対応品)	粉ミルク(アレルギー対応品)	粉ミルク(アレルギー対応品)	粉ミルク(アレルギー対応品)	支援物資
1歳半～2歳	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	支援物資
アレルギー	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	おかゆ	支援物資
75歳～	ビスケット	おかゆ	おかゆ	ビスケット	おかゆ	おかゆ	支援物資
アレルギー	玄米スナック	おかゆ	おかゆ	玄米スナック	おかゆ	おかゆ	支援物資

医療品

救急箱		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	避難所救護衛生班による傷病者の応急手当に使用するための医療品として備蓄。 内容物:消毒液、やけど薬、体温計、ばんそうこう、湿布、包帯等	目標備蓄数
		- 箱
		現在備蓄数
		47 箱

医療品箱		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所救護衛生班による傷病者の応急手当に使用するため医療品として備蓄。 内容物:包帯、ガーゼ、脱脂綿、三角巾、副木等	目標備蓄数
		- 箱
		現在備蓄数
		100 箱

担架		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	緊急医療救護所への搬送等に使用するための資器材として備蓄。	目標備蓄数
		22 台
		現在備蓄数
		22 台

簡易担架		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所救護衛生班による応急手当、緊急医療救護所への搬送等に使用するための資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		150 台

四折担架		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所救護衛生班による応急手当、緊急医療救護所への搬送等に使用するための資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		96 台

介護用シート		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
後期高齢者 (11.8%)	後期高齢者の介護用として、対象者の3日分(1人1日1枚)、及び二次避難所収容者数の3日分(1人1日3枚)を備蓄。	目標備蓄数
		29,967 枚
		現在備蓄数
		543 枚

衛生用品

おしりふき		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児 (2.7%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日20枚)を備蓄。1パック3個入、1個80枚入。	652 パック
		現在備蓄数
		847 パック

からだふき		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難者 (100.0%)	避難者の体を清潔に保つための衛生用品として、対象者の3日分(1人1日3枚)を備蓄。	30,339 個
		現在備蓄数
		27,192 個

紙おむつ(大人用S)		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
二次避難所避難者	二次避難所避難者の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて子供用ビッグ、大人用S、M、Lの対象者の4サイズを使い分ける。	5,014 枚
		現在備蓄数
		15 パック

紙おむつ(大人用M)		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
二次避難所避難者	二次避難所避難者の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて子供用ビッグ、大人用S、M、Lの対象者の4サイズを使い分ける。	5,014 枚
		現在備蓄数
		30 パック

紙おむつ(大人用L)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
後期高齢者 (11.8%)	避難所の後期高齢者の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。二次避難所避難者の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて子供用ビッグ、大人用S、M、Lの対象者の4サイズを使い分ける。	49,677 枚
		現在備蓄数
		428 パック

紙おむつ(新生児用)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児 (0.5%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日12枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて新生児用・S・M・L・ビッグの5サイズ合わせて使い分ける。	6,666 枚
		現在備蓄数
		6,267 枚

衛生用品

紙おむつ(子供用S)		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児 (0.5%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日10枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて新生児用・S・M・L・ビッグの5サイズ合わせて使い分ける。	5,195 枚
		現在備蓄数
		107 パック

紙おむつ(子供用M)		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児 (0.5%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日8枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて新生児用・S・M・L・ビッグの5サイズ合わせて使い分ける。	4,156 枚
		現在備蓄数
		4,177 枚

紙おむつ(子供用L)		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児 (0.5%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日6枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて新生児用・S・M・L・ビッグの5サイズ合わせて使い分ける。	3,117 枚
		現在備蓄数
		125 パック

紙おむつ(子供用ビッグ)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0～3歳児、二次避難所避難者 (0.5%)	乳幼児の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて新生児用・S・M・L・ビッグの5サイズを使い分ける。 二次避難所避難者の衛生用品として、対象者の3日分(1人1日4枚)を備蓄。対象者の年齢に応じて子供用ビッグ、大人用S、M、Lの対象者の4サイズを使い分ける。	7,092 枚
		現在備蓄数
		30 パック

哺乳瓶		備蓄倉庫種別
		拠/避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
全ての0歳児と1歳児の半数 (1.1%)	乳児の授乳用品として、対象者の1人1本分を備蓄。 乳児の避難状況等により、生活用品として備蓄している紙コップと併用する。	505 本
		現在備蓄数
		384 本

哺乳瓶乳首セット(S・Y)		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
哺乳瓶配布者の内、必要とする方	備蓄品として配布する哺乳瓶に据え付けられている乳首のサイズ(M)では対応できない乳児の衛生用品として、哺乳瓶備蓄数の1/3ずつを備蓄。	168 組
		現在備蓄数
		140 組

衛生用品

哺乳瓶乳首Sサイズ		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
哺乳瓶配布者の内、必要とする方	備蓄品として配布する哺乳瓶に据え付けられている乳首のサイズ(M)では対応できない乳児の衛生用品として備蓄。	12 個
		現在備蓄数
		12 個

哺乳瓶消毒器		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	乳幼児の衛生用品として、妊産婦避難所に備蓄。	- 個
		現在備蓄数
		1 個

ベビー綿棒		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
妊産婦避難所避難者の内、乳幼児	乳児のケア用品として、妊産婦避難所に備蓄。	240 本
		現在備蓄数
		400 本

乳児用爪切り		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	乳児の衛生用品として、妊産婦避難所に備蓄。	- 個
		現在備蓄数
		1 個

赤ちゃん用ワセリン		備蓄倉庫種別
		二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	乳児の衛生用品として、妊産婦避難所に備蓄。	- 個
		現在備蓄数
		2 個

生理用品(昼用)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
12~51歳の女性の内、生理期間の方 (25.7%)	女性の生理用品として、対象者の3日分(1枚4時間4枚)を備蓄。	24,917 枚
		現在備蓄数
		1,588 パック

衛生用品

生理用品(夜用)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
12～51歳の女性の内、生理期間の方 (25.7%)	女性の生理用品として、対象者の3日分(1枚8時間、1人1日1枚)を備蓄。	目標備蓄数
		6,229枚
		現在備蓄数
		577パック

非常用排便収納袋		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	扱/避
避難者 (100.0%)	上下水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなるため、排泄物処理用品として、対象者の3日分(1人1日5回)を備蓄。	目標備蓄数
		474,315枚
		現在備蓄数
		695,800枚

トイレトーパー		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	扱/避
避難者 (100.0%)	衛生用品として、対象者の3日分(1人1日0.11ロール)を備蓄。	目標備蓄数
		10,435個
		現在備蓄数
		12,060個

簡易トイレ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	地震により便器が破損した場合の排泄物処理用品として備蓄。	目標備蓄数
		-基
		現在備蓄数
		500基

マンホール用トイレ(小)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	上水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなり、路上マンホールに直結させて排泄物を処理する必要があるため、設置可能マンホール数分をマンホール用トイレ(大)、(簡易組立式)、(男性小便器)と合わせて備蓄。	目標備蓄数
		-基
		現在備蓄数
		170基

マンホール用トイレ(大)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	扱
-	上水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなり、路上マンホールに直結させて排泄物を処理する必要があるため、設置可能マンホール数分をマンホール用トイレ(小)、(簡易組立式)、(男性小便器)と合わせて備蓄。 (小)と比較し、車椅子に対応している。	目標備蓄数
		-基
		現在備蓄数
		51基

衛生用品

マンホール用トイレ(簡易組立式)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	上水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなり、路上マンホールに直結させて排泄物を処理する必要があるため、設置可能マンホール数分をマンホール用トイレ(小・大)、(男性小便器)と合わせて備蓄。	-
		基
		現在備蓄数
		90
		基

マンホール用トイレ(男性小便器)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	上水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなり、路上マンホールに直結させて排泄物を処理する必要があるため、設置可能マンホール数分をマンホール用トイレ(小・大)、(簡易組立式)と合わせて備蓄。	-
		基
		現在備蓄数
		68
		基

自動ラップ式トイレ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	扱
二次避難所避難者	上下水道が破損している場合、水洗トイレが使用できなくなる。排便袋より処理が容易であるため、介護等心身の状況により特に配慮が必要な方が衛生的な排泄物処理用品として、二次避難所に各1基配備できるよう備蓄。	12
		基
		現在備蓄数
		11
		基

薬用洗口液		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	扱/避/二
避難者 (98.6%)	急性期の避難所生活では十分な歯磨き等を行うことができないため、避難者の口腔ケア用品として、対象者の3日分(1人1日1回)を備蓄。	99,773
		本
		現在備蓄数
		140,700
		本

消毒液		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
避難者 (100.0%)	避難生活時は手指の衛生状態を保つことが困難になるため、感染症対策として、対象者の3日分(1人1日7ml)を備蓄。 1本1ℓ。	-
		本
		現在備蓄数
		1,071
		本

使い捨てゴム手袋		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避/二
-	避難所救護衛生担当の衛生対策用品として、避難所に備蓄。 1箱100枚入。	-
		箱
		現在備蓄数
		169
		箱

衛生用品

使い捨てペーパータオル		備蓄倉庫種別
		抛
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所の閉設作業用として備蓄。	4,500 枚
		現在備蓄数
		6,000 枚
使い捨てマスク		備蓄倉庫種別
		抛/避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難者 (100.0%)	避難者の感染症対策用品として、対象者の3日分(1人1日1枚)を備蓄。 1箱50枚入。	94,863 枚
		現在備蓄数
		5,923 枚
フェイスシールド		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所を運営する避難所運営委員会の避難者援護担当、救護衛生担当等の感染症対策用品として備蓄。	— 枚
		現在備蓄数
		2,160 枚
非接触型温度計		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所の感染症対策用品として備蓄。	— 個
		現在備蓄数
		66 個
消化管系スチーム装具セット		備蓄倉庫種別
		抛
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
オストメイトの方	オストメイトの方の衛生用品として、一定数備蓄	— 組
		現在備蓄数
		50 組
尿路系スチーム装具セット		備蓄倉庫種別
		抛
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
オストメイトの方	オストメイトの方の衛生用品として、一定数備蓄	— 組
		現在備蓄数
		50 組

生活用品

圧縮マット		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難所避難者 (100.0%)	避難者の寝具として、対象者1人につき1枚分を備蓄。 なお、各避難所防災備蓄倉庫において目標数を備蓄できない場合、初日避難所避難者分を優先して備蓄し、備蓄不可分は地域の拠点防災備蓄倉庫に備蓄することとする。	45,777 枚
		現在備蓄数
		49,501 枚
毛布		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難所避難者 (100.0%)	避難者の寝具として、対象者1人につき1枚分を備蓄。 なお、各避難所防災備蓄倉庫において目標数を備蓄できない場合、初日避難所避難者分を優先して備蓄し、備蓄不可分は地域の拠点防災備蓄倉庫に備蓄することとする。	45,777 枚
		現在備蓄数
		70,448 枚
折りたたみベッド		備蓄倉庫種別
		抛/避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
個別支援計画作成対象者 (1.2%)	介護を必要とする方など、全避難者対象用のマット・毛布では就寝が困難な方に対応するため備蓄。	- 台
		現在備蓄数
		350 台
乳児用段ボールコット		備蓄倉庫種別
		抛
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0歳児の半数 (0.4%)	乳児が避難所で生活するためのスペースとして備蓄。	142 個
		現在備蓄数
		150 個
授乳服セット		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
0歳児の子を持つ女性の半数 (0.4%)	授乳期間中の女性避難者の授乳時のプライバシー確保のため備蓄。	- セット
		現在備蓄数
		245 セット
飲料水用水槽		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	給水栓や給水拠点から複数人分の飲料水をまとめて確保するため、対象者100人につき1個を備蓄。	437 個
		現在備蓄数
		469 個

生活用品

水袋		備蓄倉庫種別
		抛
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難所外避難者	避難所外避難者は給水用品の備えがないことが想定されるため、対象者1人につき2枚分を給水拠点付近の倉庫に備蓄。	43,646枚
		現在備蓄数
		49,600枚

カセットガス		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	アルファ化米や豚汁の調理、煮沸消毒用に、避難所の想定避難者数25人につき1本を備蓄。	1,748本
		現在備蓄数
		1,838本

カセットコンロ		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	アルファ化米や豚汁の調理、煮沸消毒用に備蓄。	-台
		現在備蓄数
		609台

紙コップ		備蓄倉庫種別
		抛/避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難所避難者 (100.0%)	避難所避難者の飲料用に、対象者の3日分(1人1日3個)を備蓄。 また、乳児への授乳用に、対象者の3日分(1人1日8個)を備蓄。乳幼児の避難状況等により、生活用品として備蓄している哺乳瓶と併用する。	404,646個
		現在備蓄数
		180,300個

車椅子		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
身体障害者	脚が不自由な方や高齢者が自力で移動するのが難しいため、対象者の移動手段として備蓄。	-台
		現在備蓄数
		51台

白杖		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
視覚障害者	視覚障害者が自立して行動できるようにするため、視覚補助用品として備蓄。	-本
		現在備蓄数
		46本

生活用品

ゴミ袋		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	避難所内の廃棄物処理用品として備蓄。	5,057 枚
		現在備蓄数
		6,800 枚
パクタオル		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
避難所避難者 (100.0%)	体を拭いたり、頭を覆ったりするほか、保温や一時的な怪我の手当てなど、多岐にわたる用途で利用できるため、対象者1人につき1枚を備蓄。	45,777 枚
		現在備蓄数
		38,500 枚
木炭		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	かまど等を使用して煮炊きする際の燃料として備蓄。	- 箱
		現在備蓄数
		420 箱
ラップ		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	食品の保存と保護や、緊急時には食器の代わりとして使えるため備蓄。	- 本
		現在備蓄数
		620 本
筆談ボード		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	聴覚障害者など、音声による意思疎通が困難な避難者とのコミュニケーションツールとして備蓄。	- 枚
		現在備蓄数
		58 枚
防犯ブザー		備蓄倉庫種別
		抛/避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
-	マンホールトイレ使用時の防犯対策用品として備蓄。	439 個
		現在備蓄数
		439 個

資器材

リチウムイオン式蓄電池(小)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	停電時の電力供給のための屋内用非常用電源として備蓄。 主に避難所運営本部の資器材活用として想定している。	- 台
		現在備蓄数
		145 台

リチウムイオン式蓄電池(大)		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	停電時の電力供給のための屋内用非常用電源として備蓄。 主に避難所運営本部、避難者の情報端末充電用として想定している。	- 台
		現在備蓄数
		61 台

発電機		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	停電時の電力供給のための屋外用非常用電源として備蓄。 主に避難所運営本部の資器材活用として想定している。	- 台
		現在備蓄数
		103 台

懐中電灯		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	停電により電気が使用できない場合の補助照明として備蓄。	- 本
		現在備蓄数
		285 本

水電池式ライト		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	停電により電気が使用できない場合の補助照明として備蓄。	- 個
		現在備蓄数
		4,570 個

バルーン投光器		備蓄倉庫種別
		避/二
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所における常設照明器具として備蓄。	- 台
		現在備蓄数
		21 台

資器材

ハロゲン投光器		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所における常設照明器具として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		136 台

ガソリン缶詰セット		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避
-	停電時の補助エネルギー源となる発電機を動かすための燃料として備蓄。	目標備蓄数
		- 組
		現在備蓄数
		108 組

ガソリン携行缶		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	ガソリンが切れた際の運搬用として、拠点倉庫に備蓄。	目標備蓄数
		- 缶
		現在備蓄数
		4 缶

コードリール		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所での電力供給を円滑にするための資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		53 台

かまどセット		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	アルファ化米や豚汁の調理、煮沸消毒用として備蓄。	目標備蓄数
		- 組
		現在備蓄数
		129 組

かまど本体		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	アルファ化米や豚汁の調理、煮沸消毒用として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		6 個

資器材

コンロ(七輪)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	アルファ化米や豚汁の調理、煮沸消毒用として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		48 台

煮炊きレンジ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	避難生活者に対する炊き出しのため、防災広場付近の倉庫に備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		5 台

かまど燃料		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	かまどを使用して煮炊きする際の燃料として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		160 個

固形燃料		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	かまど等を使用して煮炊きする際の燃料として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		3,072 個

プライベートルーム		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所におけるプライバシー確保用品として備蓄。屋根付きであり、完全な個室となるため、授乳室・更衣室等としての活用を想定している。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		125 台

ワンタッチテント		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	避難所におけるペット飼育スペース用雨除け、屋外受付・物資保管場所用雨よけ等に活用するために備蓄。必要に応じて拠点倉庫から避難所に運搬することを想定している。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		26 台

資器材

間仕切り		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
避難所内体育館等避難者 (16.6%)	避難所におけるプライバシー確保用品として備蓄。	目標備蓄数
		- 部屋
		現在備蓄数 1,520 部屋

軍手		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	作業用の保護具として備蓄。	目標備蓄数
		- 双
		現在備蓄数 2,650 双

トランジスターメガホン		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所の運営用資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数 52 台

ブルーシート		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	屋外作業スペースの屋根や床、プライバシー保護のための間仕切りなど、多目的に活用できる資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 枚
		現在備蓄数 2,780 枚

テント		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避
-	避難所におけるペット飼育スペース用雨除け、屋外受付・物資保管場所用雨よけ等に活用するために備蓄。	目標備蓄数
		- 張
		現在備蓄数 70 張

台車		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠/避
-	施設内での資器材運搬用品としてに備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数 63 台

資器材

リヤカー		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	避難所への資器材運搬用品として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		30 台

折りたたみリヤカー		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所からの資器材運搬用品として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		49 台

浄水器		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	上水道機能(消火栓、応急給水栓含む)が停止し、給水施設からも給水が行えない状況になった場合に、生活用水から飲用可能な水を精製するための応急給水資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		45 個

スタンドパイプセット		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	消火栓、及び応急給水栓から給水を行うための応急給水資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		47 個

給水タンク(1t)		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	給水拠点から飲料水を確保するため備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		9 個

貯水タンク		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	給水拠点から複数人分の飲料水をまとめて確保するため、避難所避難者500人につき1台を避難所に備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		123 台

資器材

仮設風呂		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	拠
-	避難生活者の入浴施設として、防災広場付近の倉庫に備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		4 個

D級ポンプ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	火災時の消火用資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 台
		現在備蓄数
		46 台

背負子		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	避難所内外での簡易な資器材運搬用品として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		54 個

油圧ジャッキ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	崩壊した瓦礫の撤去等を行うための救助用資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		53 個

レスキューセット		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	人命救助に必要な救助用資器材一式として備蓄。 内容物:パール、ボルト、ハンマー等	目標備蓄数
		- 個
		現在備蓄数
		52 個

ロープ		備蓄倉庫種別
配布対象(割合)	全体算定根拠	避
-	人命救助に必要な救助用資器材として備蓄。	目標備蓄数
		- 本
		現在備蓄数
		52 本

その他

使い捨てベスト		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所運営関係者による、役割明確化のための着用品として備蓄。	— 枚
		現在備蓄数
		4,500 枚
運営委員用ベスト		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所運営関係者による、役割明確化のための着用品として備蓄。	— 式
		現在備蓄数
		45 式
子供支援おもちゃ		備蓄倉庫種別
		拠
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
未就学児 (0.5%)	避難所の子供たちに遊びを提供し、心理的安定を図るために備蓄。	— 個
		現在備蓄数
		3,000 個
災害時緊急BOX		備蓄倉庫種別
		避
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
—	避難所の開設・運営に必要な筆記用具等一式として備蓄。 内容物:筆記用具、テープ、帳票類等	— 個
		現在備蓄数
		49 個

アルファ化米(個食)(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	日常生活における主食に近いため、備蓄。 水を必要とするため、発災2～3日目の食料として、対象者の2食分を備蓄。	11,000
		食
		現在備蓄数
		11,000
		食

ビスケット(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	開封してすぐに食べられるため、発災後3日間分の食料として備蓄。	39,141
		食
		現在備蓄数
		36,790
		食

飲料水(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	一人あたり1日分(3ℓ)の飲料水を備蓄。 2日目以降は近くの給水拠点で給水する。	13,047
		ℓ
		現在備蓄数
		23,040
		ℓ

救急箱(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	傷病者の応急手当に使用するための医療品として備蓄。	9
		箱
		現在備蓄数
		10
		箱

折りたたみ式担架(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	応急手当、緊急医療救護所への搬送等に使用するための資器材として備蓄。	9
		台
		現在備蓄数
		9
		台

消毒液(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	避難生活時は手指の衛生状態を保つことが困難になるため、感染症対策として、対象者の3日分(1日7ml)を備蓄。 1本500mℓ。	183
		本
		現在備蓄数
		150
		本

使い捨てマスク(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	帰宅困難者の感染症対策用品として、対象者の3日分(1人1日1枚)を備蓄。	13,047 枚
		現在備蓄数
		580 枚

圧縮マット(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	帰宅困難者の寝具として、対象者1人につき1枚分を備蓄。	4,349 枚
		現在備蓄数
		4,349 枚

アルミブランケット(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	帰宅困難者の寝具として、対象者1人につき1枚分を備蓄。 なお、一時滞在施設に収容しきれない帰宅困難者も多数発生することが想定されることから、それを考慮し、一定数備蓄する。	22,000 枚
		現在備蓄数
		22,000 枚

紙コップ(帰宅困難)		備蓄倉庫種別
		帰
配布対象(割合)	全体算定根拠	目標備蓄数
帰宅困難者	乳児への授乳用に、対象者の3日分(1人1日8個)を備蓄。	498 個
		現在備蓄数
		3,300 個

付録2:年齢別人口比率

「付録1:備蓄品別配布対象、算定根拠、備蓄数一覧」における備蓄品配布対象者の設定には、令和2年国勢調査による調査結果を元に作表した、以下の台東区の年齢別人口比率の数値を用いる。

	合計	男	女	構成比
0歳	1,575人	789人	786人	0.75%
1歳	1,417人	741人	676人	0.68%
2歳	1,375人	698人	677人	0.66%
3歳	1,356人	691人	665人	0.65%
4歳	1,270人	639人	631人	0.61%
5～9歳	6,162人	3,141人	3,021人	2.95%
10～14歳	5,493人	2,852人	2,641人	2.63%
15～19歳	5,622人	2,812人	2,810人	2.69%
20～24歳	9,934人	5,066人	4,868人	4.75%
25～29歳	16,889人	8,799人	8,090人	8.08%
30～34歳	17,270人	9,121人	8,149人	8.26%
35～39歳	17,236人	9,292人	7,944人	8.24%
40～44歳	17,392人	9,288人	8,104人	8.32%
45～49歳	18,479人	9,694人	8,785人	8.84%
50～54歳	16,361人	8,763人	7,598人	7.82%
55～59歳	13,157人	7,256人	5,901人	6.29%
60～64歳	10,615人	5,831人	4,784人	5.08%
65～69歳	10,332人	5,588人	4,744人	4.94%
70～74歳	12,290人	6,470人	5,820人	5.88%
75～79歳	9,506人	4,359人	5,147人	4.55%
80歳以上	15,382人	5,663人	9,719人	7.36%
年齢不詳	2,331人	1,033人	1,298人	※1
総数	211,444人	108,586人	102,858人	

※1 年齢不詳者は人口構成比から除外している。